レッスン：SPA/NO.17

テーマ：現在のパーソナリティーの部屋

SPA17.DOC/KE6PYRN5.EN

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たち。

私たちは常に主、絶対、神の聖性に抱かれています。

以前、生命の木には三つの同一の大きな三角形がある、と述べました。一番上の三角形は絶対存在に属し、それ自体のアウタルキー（＊自己充足）の状態にある絶対存在を示します。そしてこの三角形は四つの小さな同形の三角形に分けられ、そのうちの三つは上向きで、四つ目の三角形は下向きです。（生命の木のチャートを見て下さい）

一番上にある上向きの三角形は、絶対存在におけるロゴス的特質の部分を現しています。それは絶対善を示す三角形ではなく、絶対存在のロゴス的特質を示す三角形であり、その三角形について私たちは絶対英知は他の二つの特質、つまり絶対善および絶対パワーの前にある、と言うことができます。しかしそれでも、絶対存在のロゴス的部分であるキリスト・ロゴスがそれ自体の黙想の聖なる運動のなかで表現されるのはその三角形からです。そうです、その運動とは聖なるものです。というのもそれは神の聖なる黙想の運動だからです。

ですから、それ自体のアウタルキー状態にある絶対存在を示す頂上の三角形（一番上の三角形全部）があり、絶対存在の一つの三角形と同形の下向きの三角形があり、それは絶対存在の三角形と底辺が共通しています。唯一の違いはそれらは反対の方向を指しており、一つはそれ自体の中でそれ自体を表現している状態にあるアウタルキーの方に向いています。この三角形は同じようにアウタルキーのなかで、それ自身のなかにおけるそれ自身を現していますが、現れとなっており、それが生じるためには絶対存在のもう一つの特質が必要となります。それはその本質における特質、質、法則です。そして以前に、その法則とはWidest of Heavens 以外の何ものでもない、と述べました。アウタルキーのなかで、その法則は絶対存在としてのマリアです。覚えているかもしれませんが、以前アウタルキーのなかのキリスト・ロゴスについて、それは絶対存在であるキリスト・ロゴスであり違いはないと述べました。そしてその法則、それは絶対存在としてのマリアなのです。

ですから現れるために、キリスト・ロゴスが通過する必要のある法則があるのですが、創造の諸世界で現れる前に、まず現れとしてのこの法則が必要であり、Widest of Heavensがあり、Widest of Heavensは八芒星によって象徴される、と述べました。そしてキリストロゴスがそれを通じて表現されることになるその現れの結果として、汎宇宙的キリストロゴスの現れがあります。その同一形の三角形は汎宇宙的キリストロゴスの三角形です。ですから、二つの大きな同一の三角形があります。

それでは、人間のイデアを通過したキリストロゴスはどうでしょうか？これまで私たちは、汎宇宙的キリストロゴスと人間のイデアを通過したキリストロゴスは一つである、と知っていました。一つであると言うとき、それは質的および量的に同じという意味でしょうか？そうです、質的には一つですが、量的には一つではありません。人間のイデアを通過するのは汎宇宙的キリストロゴスのほんの微細なスパークであり、このイデアを通じて人間という現れが存在するのです。汎宇宙的キリストロゴスとしてのキリストロゴスからの微細なスパークが人間のイデアを通過すると言うとき、このイデアを通じて自分たちのセルフからの微細な部分を表現しようとするスピリットとしてのモナドについて述べています。

しかし、またそこには何か他のものも生じています。人間のイデアの完全なモデルがあります。完全という意味は、絶対存在の特質を完全に表現していることであり、そのモデルは汎宇宙的キリストロゴスに属します。ですから、今このモデルがあります。前に述べたように、これら二つの三角形、つまり一番上にある大きな三角形、そしてもう一つの三角形は一つであり、同形です。反対の方向を指していますが、実際には一つなのです。さて、先ほど述べたばかりの小さな三角形、それは人間のイデアを示していますが、そのモデルは一番上の三角形から直接的に下降し、創造界へと下降しています。この三角形とはここにある下向きの三角形です。ですから、生それ自体の諸世界のなかには二つの同じ三角形があり、小さな一つの三角形があります。そして、大きな一つの三角形の口がこの小さな一つの三角形の真ん中にあります。

Page 2

さて、最初に私たちは生命の木の上にある三つの同形の大きな三角形について述べました。三番目の三角形とは生命の木の一番下にある三角形であり、それはかつて話したように現在のパーソナリティーを示しています。しかし、この三角形は他の二つと同一形ではありません。現在のパーソナリティーとしての人間は他の二つと同じになるためにワークする必要があります。過去に述べたように、現在のパーソナリティーがそれに成功するためには、気づきを上昇させる必要があります。

その現れは様々なレベル、様々なステーションを通過するでしょう。そして現在のパーソナリティーがいわゆる最初の磔に到達するとき、その時現在のパーソナリティーは自己実現に達するのです。そしてそれが生じる時、現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まるにもかかわらず六芒星が完成します。現在のパーソナリティーが上昇し、その三角形の中心が人間のモデルの理想、つまり人間のイデアあるいは天上の人間を示すキリストロゴスに属する小さな三角形の中心と同一となります。その時いわゆるキリスト意識となるのです。

ですから、六芒星はキリスト意識を意味します。その時、現在のパーソナリティーとしての人間は完全にではありませんが生の特質を多く現しています。しかし、もし彼が転生のサイクルを去り、生それ自体の諸世界で生それ自体を現すとき、その人は生の特質を完全に現すようになります。しかし、そのパーソナリティーは同胞の人類のなかの最後の人がそのレベルに到達するように助けることなくして、転生のサイクルを去ることはないでしょう。

ですから人間がそのポジションに到達する前に六芒星があり、他の星もあります。以前、人間はいわゆる五芒星をマスターする必要があると述べ、あなた方はそのためのいくつかのエクササイズをしました。それは五つの超感覚を通じた現れを意味します。

ですから、六芒星があり、五芒星がありますが、しかし星あるいはピラミッドとしての他のシンボルもあり、現在のパーソナリティーとしての現れが自己実現するためにはそれらのワークをする必要があります。三芒星があり、四芒星があり、ピラミッドのベースとしてのそれらがあり、真のワークは四面ピラミッドからスタートするのです。

四面ピラミッドと言うとき、それは本当にそうなのでしょうか？違います、四面ピラミッドの下からです。というのも、前に述べたように、無知のなかにある間は現在のパーソナリティーは地面の中にいて、四つの壁の限界のなかにいるからです。それは現在のパーソナリティーの墓と見なされている部屋です。ですから、私たちはこのポジションから、現在のパーソナリティーのこの部屋のなかでワークする必要があります。私たちはもはやそれを墓とは呼びませんが、現在のパーソナリティーの部屋と呼ぶことにします。

その部屋の中でどのようにワークするのでしょう？過去に、そしてこのレッスンで述べたそれら全てのシンボルを創造することによってワークをします。五芒星、五面ピラミッド、四面ピラミッド、三面ピラミッド、さらに一面ピラミッドさえも創造することになります。それらは現在のパーソナリティーが創造するものです、たとえ現在のパーソナリティーが部屋のなかにいる間でも。

ですから多くのイメージ化（ビジュアライゼーション）が必要です。エーテルの特性をかなりマスターすることが求められます。しかし、あなたにはそれに成功する能力があることを覚えておく必要があります。というのも、全ての人のなかには前の二つのレッスンの中で述べた星、現在のパーソナリティーの自己実現に到達する能力を人間に与える星、つまり14芒星があるからです。そして以前述べたように、この星のなかには現在のパーソナリティーが経験するために使うことのできる無数の蓋然的可能性のサイクルがあります。どれほど多く含まれているのでしょうか？数え切れないほど無数にあります。

現在のパーソナリティーはどれほど多くの蓋然的可能性のサイクルを経るのでしょうか？私たちは今、永遠のパーソナリティーの全てのパーソナリティーについて話しているのではなくて、現在のパーソナリティーについて話しているのですが、そのサイクルはいつも変わります。どれほど多くの蓋然的可能性のサイクルを経るのでしょうか？これも無数であり、数え切れません。ですからベツレヘムの星によってどれほど多くの蓋然的可能性のサイクルが提供されているのでしょうか？それは理解を超えています。私たちは14芒星のこの星について何かエクササイズをするのでしょうか？私たちが現在のパーソナリティーの部屋にいる間、この星とはどのような関係があるのでしょうか？既に述べたように、（星の）それぞれの先端は特定のレベルの意識の現れを示しています。この星の一つの先端は、その初めての転生を現している時の現在のパーソナリティーを示しています。ですから、その部屋にいる間に、深い無知の限界のなかにいる間にそのパーソナリティーが経るいくつかのポイント、いくつかのステーションがあります。ですから、現在のパーソナリティーの部屋にいる間、その現在のパーソナリティーに提供された可能性を使うわけです。この部屋にいる間、私たちはその星をそれ以外の仕方で使うわけではありません。

前に述べたように、いわゆるヤコブの梯子には14の段があり、ロゴスのサイドには10の段があります。しかしまた中央の柱にもまた他の段があります。近い将来、この柱にはいくつの段があるのかお話しましょう。そうです、私たちは現在のパーソナリティーの部屋にいる間でさえも、これら全てについて触れるつもりです。

Page 3

勿論、意識のセルフ・エピグノシスのこの動きは今のところは気づきの上昇としての真の現れを表現しないでしょう。今のところはサイコノエティカルな上昇を現すことはありませんが、しかしこのワークは上昇というこの動きを送ります。現在のパーソナリティーが部屋、墓から出て地中にいるあらゆる獣と対面するのに必要な全ての手段を得る助けとなります。ですから、私たちは獣たちと対面できるようになるために必要な手段を得るためにワークをする必要があるのです。

それらの手段とは何だと思いますか？銃、パワー、能力、それらは何だと思いますか？私たちは獣たち、“悪魔”と戦うのでしょうか？現在のパーソナリティーが墓から出ることのできる手段を得ているとみなされる時、その時現在のパーソナリティーは実際に何を現しているのでしょうか？それはより高いレベルの気づきを現しています。

以前、意識は様々なレベルで表現されると述べました。墓にいる間の私たちの仕事は、いわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現できるようになることです。たとえ完全にではなくても、意識のそのレベルの現れにかなり近づくことです。そして、実際それらは獣たちと対面するために必要な道具、手段なのです。それ以外のいかなるパワーや能力も必要ではありません。

その現れの周波数は、以前その人が地にフォーカスしていた時に現していた周波数よりもずっと高くなっています。そして、悪魔、あるいは獣たちの周波数はずっと低いです。彼らはもはや人間が表現する周波数に達することができず、それゆえもはやその人に影響を与えたり、害することができません。

気づきを高めることは必要な道具、手段であり、それ以外のものは必要ありません。その時、現在のパーソナリティーはいかなる恐れを抱くことなく墓のドアーを開き、地に囲まれ、それら全ての獣たち、悪魔に囲まれても恐れを抱くことはないのです。その仕事に向けての道は開かれています。つまり、墓から墓の上にある四面ピラミッド内の地上のレベルまで旅することです。それが起きたとき、現在のパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現すようになり、勿論四面ピラミッド内での真のワークがスタートするのです。経験に基づく知識という真のワークです。その時初めて探求者は触知できる、実体のある経験をするようになります；実体のある経験は四面ピラミッドと共に始まります。現在のパーソナリティーの部屋の中にいる間に創造するものではなくて大きなピラミッドです。

ですから、部屋にいる間にたくさんのワークをする必要があります。あなたは四面ピラミッドを創造し、五芒星を自分の身にまとい、現在あなたがいる部屋にもっと親しむ必要があります。それぞれの壁は非常に重要な何かを示しており、同様に床そして天井さえも重要な意味を示しています。部屋の壁を四面ピラミッドの壁あるいは側面と間違えないでください。それらは異なったものです。

一つのエクササイズで成功したからといって、別のエクササイズで成功するとは限りません。これから私たちは現在のパーソナリティーの部屋のなかでたくさんのエクササイズを行いますが、過去にこれまで与えられたエクササイズ全てを繰り返すようアドバイスします。特に、エーテルの特質、つまり感覚、運動、刻印エーテルの特質です。創造エーテルについてはタッチしないでください。それは最初の三つをマスターした結果であるべきです。それは部屋にいる現在のパーソナリティーのためのものではありません。あなた方が超意識のセルフ・エピグノシスを表現するポイントに到達する時、それは四面ピラミッドのなかで起きるでしょう。その時初めて、現在のパーソナリティーは他の人々を意識的に助けることができるようになるのです。

SPA 17 エクササイズ　01

静かに座り、あなたの心を邪魔するもの全てを解き放ちます…白い自分をイメージし、自分の形の境界を感じます…あなたは全身純白で、自分の形の境界を感じています…あなたは今ホワイトブルーの霧に覆われた場所にいます…周囲はホワイトブルーの霧です…しかし、自分が部屋のなかにいることは知っています…あなたは部屋のなかにいますが、今あなたにはあなたを取り囲んでいる壁が見えません…あなたは北を向いています…前には壁がありますが、このブルーがかった霧のためにそれが見えません…濃い霧のために見えません…霧を通して前にあるものを見ようと努力しますが…今のところ何も見ることができません。

右に90度回ります…今あなたは今まであなたの右側にあった壁に向かっています…その方向にフォーカスします…徐々に、少しずつ霧を通して赤い輝きが見えてきます…そしてあなたの前方、離れた所にあるその赤い輝きがだんだんはっきりしてきます…今やあなたはその輝きが自分の前にある壁から来ていることがわかります…その輝きにフォーカスします…そうすることによって、あなたはミカエル、あなたに付き添っているアークエンジェルのミカエルに同調しようとしているのです…そして、ミカエルを通じてあなたは将来ミカエルのオーダーに同調することになるのです。

さらに右に90度回ると、最初にあなたの背後にあった壁に向いています…その方角にフォーカスします…最初は濃い霧しか見えません…しかし、じっとフォーカスしていると霧の向こうに何かが輝いているのがわかります…そして徐々にその輝きがホワイトブルーの色であるとわかります…そして今、正面の壁がそのホワイトブルーの輝きを放っていることがはっきりとわかります…その輝きに同調すればするほどアークエンジェルのガブリエルに同調します…それはあなたに付き添っており、ガブリエルを通じて将来あなたはガブリエルのオーダーと同調することになるのです。

それでは左に180度回転します…あなたは再び北に向いており、最初にスタートした壁に向いています…あなたは最初の位置にいます…その方向にフォーカスします…霧の向こうに何かを見ようと努力してください…しかし、前方には何か影のようなものしか見えません…はっきりとは見えません…何かイメージのようなものが見えますが、それが何であるかはっきりわかりません…

左に90度回ります…それまであなたの左側にあった壁に今や向いています…その壁、その方向にフォーカスします…初めは霧しか見えませんが、一生懸命努力すると次第に少しずつウルトラ・バイオレットの輝きが来るのが見えてきます…フォーカスすればするほどその光の輝きが増してきます…今やあなたはその光が前の壁から来ることがわかります…あなたがその輝きにフォーカスすればするほど、あなたに付き添っているアークエンジェルのラファエルに同調することができます…彼を通じてあなたは将来ラファエルのオーダーに同調することになるのです。

それでは右に90度回り、今あなたは初めに目の前にあった壁に向かっています…あなたはミカエル、ガブリエル、ラファエルに同調しようとしてきました…あなたは今目の前の壁にフォーカスしようとしていますが、その壁は実際には鏡であり、また同時にその壁はウリエルのオーダーによってコントロールされています…さて、あなたがフォーカスすればするほど霧を通して前方を見ることができるようになります…今や、前方にあるイメージがどんどんはっきりしてきます…今、目の前にあるイメージがとてもはっきりと見えますが、その鏡のなかのイメージは実際にはあなた自身、あなたのイメージ、あなたのセルフのイメージなのです…今、目の前にある鏡のなかにあなた自身を非常に明確に見ることができます…あなたはそのイメージの全ての詳細を見ることができます…

今あなたは、自分の意識のセルフ・エピグノシスを、前にある自分のイメージのなかに転送します…なぜなら、あなたのイメージとはあなたのセルフだからです…今や、あなたの前にあった鏡からあなたの観察がスタートします…ですから、自分の前に立っている自分の身体を観察します…今や観察は鏡から始まり、あなたはその部屋の中を観察します…同時に、輝いている他の三つの壁も見えます…あなたはまた付き添っているアークエンジェルのウリエルからの完全なサポートを得ています…あなたの前に立っているあなたの現在のパーソナリティーを観察するようにします…アークエンジェルたちの助けのおかげで、自分の現在のパーソナリティーの弱点から影響を受けることがないので、自分自身をしっかりと観察することができます。

影響を受けることなしに自分の弱点、欠点全てを見ます…それでは再び自分の意識のセルフ・エピグノシスを自分の身体に戻します…あなたは目の前の鏡に向かっており、鏡に映っている自分のイメージを見ています…より良いセルフの表現、気づきの上昇に向けてあなたを助けてくれたそれらのアークエンジェルたちに感謝を捧げます…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは主、聖なる主の絶対性によって守られています。

**質問と答え**

質問：あなたがWidest of Heavens について述べた時、私はそれがOur Lady を意味するギリシャ語であるPanAyia のことだと思いました。

Ｋ：勿論、それはPanAyiaの現れ、PanAyia絶対存在の現れです。違いはありません。しかし、それは絶対存在のなかの法則なので、人間には近づけないものです。それゆえにWidest of Heavensについて私たちはあまり多くを知らないのです。キリストロゴスについても同じです。キリストロゴスとはキリストロゴス絶対存在であり、汎宇宙的キリストロゴス、“Pansympanticos キリストロゴス”、“Pansympanticos”とイエス・キリストロゴスがあるのです。処女マリアとしての、一つの現在のパーソナリティーとしての“PanAyia”についても同じことが言えます。それは法則を意味しており、それを通じて私たちの現れとしての誕生があるのです。PanAyiaは人間が自らの源を見いだすのを助ける処女マリアの役割を果たしたのではなく、彼女はキリストロゴスがそれ自身を現すためにその役割を果たしたのです。それ故に人間は処女マリアあるいはWidest of Heavensについてよくは知らないのです。それは人間の理解を超えています。それゆえに女性が出産をするのです。それはただの偶然ではありません。

実際には人間は一つです。絶対存在がそれ自身のなかの異なった質、異なった特質と一つなのと同じです。その本質のなかに様々な特質があるのです。人間についても同じ事が言えます、なぜなら人間は**生それ自身**だからです。

人間が無知のなかにある間はある目的のために、現象としてはある程度分離しています。しかし、人間が無知から解放される時、人間は一つになります。もはや性別はなくなります。なぜなら、その時には性別というものが目的に合わなくなるからです。しかし、アウタルキーのなかで創造界が存在するためには、マインドの様々なバイブレーション（それを通じて現れが表現される。なぜなら、マインドとはそれを通じて現れが表現される手段だからです）のなかの現れのレベルに応じて、それらの特質が使用される必要があるのです。

それゆえに、キリストロゴス絶対存在があり、Widest of Heavensとしての処女マリア絶対存在があり、処女マリアのパーソナリティーとしての処女マリア絶対存在があります。それは現れの異なった段階です。私たちは、天上の人間(Heavenly Man)として人間のイデア（それはキリストロゴスを完全に表現している状態）に到達することはできますが、全体としてではありません。なぜなら、その全体とは全ての人間、創造界における全ての人間だからです。私たちは神の状態(His Being)というステート（＊段階、状態）に到達できますが、いわゆる汎宇宙的キリストロゴスのステートには決して到達できません。それは不可能です。なぜなら、それは絶対存在の全体的現れだからです。それゆえ、イエスキリストは時に「父と私は一つである」と言い、また「私の父は私以上である」と言ったのです（それは特質としてのパワーの表現において、どのステートからイエスキリストがアプローチしていたか、によります）。

ですから、キリストロゴスは“パワーの中”(in Power)にあり“初めに(In the Beginnnig)”にあるのではありません。残念ながら、それらの（＊聖書の）翻訳は古代ギリシャ語からのものであり、“en archi”という言葉には二つの意味があります。一つは“from the beginning”（初めから）という意味で、もう一つの意味は“in power”という意味です。不幸なことに間違えて、別の意味に翻訳してしまったのです。これを理解するためにはこの種のワークが必要となります。それゆえに、あなた方は真理を知るためには探求が必要なのです。気づきのレベルが伴わない場合、真実を知るのは簡単ではありません。

質問：三角形には三位一体があり、キリストロゴス絶対としてのキリストがありますが、聖霊(Holy Spirit)のなかには何か分割があるのでしょうか？聖霊もまた創造界への下降の結果であるという意味で…。

Ｋ：勿論です。この三角形は聖霊の三角形です。こちらはロゴスの三角形です。“ロゴスの”という時、それは絶対善である特質に属するという意味です。これは絶対パワー（左）であり、これは絶対善（右）であり、もう一つは絶対英知です。この現れは決してアウタルキーを離れたことは決してありません。アークエンジェルの黙想は絶対存在の黙想と少しも違いません。違いがあるとすれば、それが黙想の全体ではないということです。それは神の黙想のある部分であり、それは一つの役目を果たしています。その表現はそのステートにある間でさえ、それまで表現していたもの以上のことを表現することはありません。彼らは絶対存在のダイナミックな現れの両手であり、それ以外の何ものでもありません。彼らは何かを“獲得する”ということはないのです。

ですから、たくさんのワークがあります。私たちは真のワークに向かって深く入っていきます。もっともっと多くのことを表面に浮上させようとするなら、それは探求者次第です。なぜなら、それは探求であり、私たちは前に進んでいきます。この知識はどこかに書かれているものではありません。探求はレッスンが与えられている間に行われます。それゆえに、私たちが全てのサークルに同じ知識を与えようとしても、それは不可能です。というのも、あなた方がレッスンを与えられている間、あなた方はそれ以前には気づかなかった何かにフォーカスしているからです。それゆえに、毎回私たちはさらに深いものを与えているのです。そして、私たちはニーズに応じて、そしてそのグループが吸収できるレベルに応じて進んでいきます。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

EREVNA SPA17.DOC/KE6/N5/